

刊夕日二十月八

# 常警日新聞

定価 一圓(金税別) 五五銭(郵税別)

発行所 常警日新聞社

印刷所 常警日新聞社

電話 六二〇〇

社址 東京都千代田区千代田

支店 東京、大阪、名古屋、京都、神戸、横浜、仙台、福岡

日 刊

発行時間 毎朝五時三十分

発行部数 五萬五千部

日 刊 日 刊 日 刊



## 佛教と僧侶

一言居士 (上)

磐城之實業の「石城郡佛教徒を再び討検す」の記事を讀み、現在の腐敗墮落せる僧侶への反省の糧となると思つてゐたところ、はからずも磐城新聞で沙門大應氏が「敢て某氏に誨ふ」と眞赤になつてY氏の眞意を知らず字句をとらへて喰ふてかゝつて來た。その勇敢な正直さとしてその眞摯なには驚いた。かふした僧侶のあることは石城郡の佛教枯死せず血の通ふてゐることを知つて嬉しい。怒ることとは正直であり、良心的である。解胎した僧は小僧何にぬかすとそんなことに取りあはず鼻の先で笑ふであらうか。

○明日の献立

○朝オートミル 牛乳

○コーヒー 果物

【晝】野菜クリーム煮(馬鈴薯 人参 さやい んげん ハム)

【晚】親子丼(鳥肉 玉子 玉葱)

清汁：若芽

『益踊考』は本稿を終了に至る迄一時休載

ろうがそんな僧は現代には幾人も居らぬ。大抵の僧侶は目をつぶり耳をふさいで野良犬のやに尾を下げて素通りする。

○○寺の○○○○のヒロ問題、あんな事は社會にザラにある。あれは僧侶であらうか。

糞掃衣よりもサツパリした衣と嬉ふし、跣足で歩くよりも下駄を履くことが効果的だ」とここに至つては佛教を云々することがなげなくなる。釋迦や歴代の高僧は地下下泣くにも泣けずじだ足踏んで居るであらう。

眞の僧侶は「個人我を通して社會我を生ず」と云ふ然りだがこれは言ふに易く行に難い。それをなし得る僧侶は幾人ある。なし得ないから幾多の惱みと苦業と修業がある。そこに他力本願の宗旨すらあるのだ、これは理屈でなく体験である。ナマクサ坊主の出來得ることでない。V氏の「亡者死人に引導するよりも先づ以つて己自身に引導して諸惡莫作衆善奉行を 掛けて頂きたい」と云ふ眞意はここにあるのだ。

## 時計

### 高橋時計店

平町二丁目

・小店員募集委細面談・

願の宗旨すらあるのだ、これは理屈でなく体験である。ナマクサ坊主の出來得ることでない。V氏の「亡者死人に引導するよりも先づ以つて己自身に引導して諸惡莫作衆善奉行を 掛けて頂きたい」と云ふ眞意はここにあるのだ。

外科 内臓外科 院長 安齋 徹

X 光線科

新設

産婦人科 醫學士 黒澤 廣

△入院隨意△

平町田町

### 安齋醫院

電話 四七五

### 喜多流謠曲と仕舞の

#### 稽古をお奨め致します

平町田町六九

### 喜多流 仕舞 白土會

入會隨時 電話 一二七番

### 御禮

生ビール發賣以來連夜豫定の樽數を賣盡し有難う存じます。

就ては御禮として 毎土曜日を

### 黒ビールデーとして御奉仕いたします。

### 平會館

電話 六二四

### 七夕祭飾附品

七夕祭材料紙格安勉強致します。

五色染紙 金銀紙 色セロファン紙

色テープ 色艶紙 色バラピン紙

久壽玉用... 色ラニス紙 櫻紙

### 和洋紙 坂本紙店

平町一丁目 電話 十八番

パイロット万年筆 特約店

セーラー万年筆

### 夏は!

### キヤンプとハイキング

いつもお供は

### マイコーカメラ

海も良し!!! 山も良し!!!

これさへあればいつも朗か楽しい旅行

このカメラならどんな素人でもキレイな寫眞が直ぐ撮れます。

トウゴウカメラ 特約店

### いづみや玩具店

### カメラ部

### 外科科一般

### 金成醫院

金成 忠 義 平鎌田町(電三五八)

電燈、動力、新設増設及改修

ネオンサイン設計及取付

甲種、乙種、電話設備

工業特設電話設備

呼鈴及室内電話設備

専屬電子を置き材料の撰擇と親切をモットーとして

工事致します。何卒御引立の程御願ひ申し上げます

### 日東商會

平二・電話 四二八番

### 明雲堂眼科醫院

新妻幸之助

弊院儀今般都合により元平郵便局裏三丁目裏川岸通りに移轉仕候從前通り診療に從事仕り候間右謹告仕り候

七月二十五日

田町五番地

# 味方の飛行機は……

## 機尾に白の吹流し

### 夜間は灯火を明滅して合圖

#### 此の以外は直ちに攻撃開始

(既報) 平地方の防空演習に  
關し濱通り監視哨勤務者協  
議會はこの程平署會議室に  
開かれたが出席者は四倉、  
豊間、上遠野、小名濱、植  
田、平の各監視哨幹部廿餘  
名及び

平町役場 平防護團幹  
部等で味方の飛行機は晝間  
は機尾に白の吹流しをつけ  
夜間は灯火を明滅して合圖  
となし、地上の平町に於て  
は灯火一ヶ所を以つて之に  
答へる等で前記吹流し等の  
合圖なきものは全部敵機と  
見做して

監視警報を要するも  
のである又兩日共午後十時  
迄執行される監視哨には若  
松聯隊から將校三名と兵十  
三名が参加、機關銃も参加  
するが通信網の關係から平  
署が監視哨本部に充てられ  
壯烈な防空戦は展開される

## 南町貫通 道路協議

### 區長を招いて

平町土木委員會は十四日午  
後一時から同町會議室に開  
き  
大町、南町、三丁目、四

丁目

の各區長を招いて南町道開  
設延長二十間、幅員四間半  
の地元負擔金に關し協議す  
ることになつたが

右案は地元負擔金の關係  
から十一年度豫算に遂に  
計上されなかつたもので  
十二年度には町として平  
驛前から本町を貫通大町  
に抜ける重要な町道とな  
つたため之が施工實現  
を計るため前記地元の負  
擔金に就いて協議するも  
のである

## 鐵道局長

### 平驛を視察

新任挨拶の爲め福島、郡山  
方面を視察中の平山仙臺鐵  
道局長及び櫻岡運輸主任、  
櫻井福島運輸事務所長の一  
行は今日午前十一時十一  
分平驛着列車で郡山より來  
平、驛長室に小憩後十一時  
七分常磐線下り列車で管内  
各驛の視察に向た

## 警官異動

### 昨日發令さる

農村警察充實のため今回縣  
下一帯に行はれた警察官異  
種は昨十一日發令されたが

郡下の異動左の如くである

- 新任地 舊任地
- 保安 平 木戸幸三郎
- 平 喜多方 本田 泉
- 平 二本松 堀川延夫
- (以上巡查部長)
- 福島 四倉 星勝之丞
- 四倉 福島 森 喜七
- 平 三春 矢内茂春
- (以上巡查)

## 下水完備からか

### 平町の蠅が減る

(昨報) 平町の蠅取りデーは昨  
十一日から受付を開始して  
ゐるが本十二日正午迄に二  
十五萬四千四百三十三匹の捕  
獲數となり参加人員は千二  
百三十人の多數を示して本  
日午後の締切りまでには幾  
分人員捕獲共に増える見込  
であるが昨年の同様の捕獲  
數七十五萬六千二百六十六  
匹に比して半數も満たぬ  
のは平町の下水完備、その  
他の衛生設備の良さを示し  
て居るもので同時に町民の  
夏季衛生智識の普及をも物  
語つてゐるらしいと

の處今十二日完了、尙千餘  
圓を投じ工事中である平南  
の校舍修繕は二十日頃の竣  
功の筈

平局業務改善 平郵  
便局では来る十九日午後一  
時から局樓上に業務の能力  
増進に就いて協議する

鐵工組合認可 平鐵  
工機械工業組合は十一日付  
で商工大臣の設立の認可を  
得た出資五千圓

平局野球出陣 野報  
来る十六日郡山の下一二等  
局野球戦に出場する平局チ  
ーム並に應援團五十餘名は  
十六日午前四時バス仕立て  
出發

## 平町 人事

### 結婚 姻

△江名町大字江名字南町二  
〇戸田徳次郎氏(二九)一  
丁目一五武花キミさん  
(二六)

### 回死 亡

△白銀町九稻田幾藏氏(三  
九)

### 四倉から(三)

平第一臨海學校通信  
(八月八日) 昨日の猛練習の  
ためか朝の起き方が元氣が  
ない。六ノ二組の酒井君、  
小園井君などおしりを打た  
れたものもあつた。今日は  
最後の日だ、懐かしい平町  
兄さん弟さん父母の姿を思  
ひうかべながら宿舎の片附  
をした、中々はかどらな  
つた。盛に先生の掛聲がか  
つた。

た。おかげで楽しい臨海學  
校を終へることが出来た。  
僕等の土産は潮氣のある黒  
い肌と赤ふんのためにくつ  
さりとした腰の白い線  
だ。先生と共に同じ蚊帳に  
ねて同じ場所でお話をとる  
友達、同じが親の許を離れ  
て共同の生活をする、僕等  
男の生徒、平第一小學校の  
生徒のみが誇りである  
六時十分四倉發の刑車に  
乗り組んだ。流線型の機關  
車だ。夕日は西の山端に近  
い。空は眞赤だ明日も天気  
だらう。汽車の進むと共に  
色々の事が頭にうかぶ、水  
をのんだ、波にもまれた、  
相撲とつた、船につて大  
海に出た船が傾くたびにひ  
やりとした事など一つ一つ  
が思出の種である。こんな  
事がこんな今僕等の力  
となるかしのれない。何時の  
間には平驛に下車した。驛  
頭にはお迎への人で一杯で  
あつた。廣場に整列して校  
長先生のお話をうけて解散  
した。友達と互にかはす別  
れの言葉、先生さようなら  
皆さんさようなら。夕暮町  
の家路をたどつた。

## 工場員募集

平工場作業員 二名  
三十歳前後

川崎工場見習 三名  
十六、七歳前後(附付外手当支給)

石綿ムシカマド製作所  
平村木町(電話一三七番)

西村屋藥局  
藥劑師 鈴木堅助  
電話 三三番  
振替(東京六)二九九  
仙臺一、二〇一

# 市原醫院

平町田町(電一四番)  
内科 小兒科 市原卯太郎  
外科 梅毒・淋病 市原三三男  
入院隨時

# 婦女誘拐團の一味

## 小名濱で逮捕する

### 元警視廳巡查を主魁とし

#### 魔手を全国に伸す

##### 救世軍が

###### 海濱週刊開始

小名濱町字上町料理店菊屋こと河野光太郎(四)は栃木署からの指名手配で既報の如く十日平署で検挙、十一日夜察平した栃木署伊藤部長刑事が引取つて栃木署に引上げたが河野は全国的に魔手をのびして婦女子を誘拐、満洲國、支那方面に賣り飛ばして過般栃木署に逮捕された元警視廳巡查某を主魁とする恐るべき婦女誘拐團の一味に加盟、栃木縣下に於て關の世界に躍り悪辣な手段を弄して營利誘拐を行つてゐたこと發覺したもので被害は取調への進展に連れて三十餘名の多數に上る見込である

## 引取りの部長刑事

### 貯金詐欺と間違る

#### 平署の刑事が駈付けて

##### 白晝ナンセンスと判明

平署熊田特高刑事は昨十一日正午頃平局から「只今貯金詐欺らしい男が来て居りますから」と忙しい電話あつたため馳けつけて取調べた處右は小名濱町の營利誘拐犯人を引取りに来た栃木縣栃木署の伊藤部長刑事と判明飛んだ白晝ナンセンスに終つたが伊藤刑事は栃木縣下の營利誘拐犯人が平署で逮捕の通知に接して同日午前十一時平署に下車した處旅費の都合が悪く奥さんの貯金通帳で現金を引

## 成田山の祭禮

### 平南町成田山の祭禮は明後十四

成田山の祭禮は明後十四日晩で活動寫真其他の餘興がある

## 素人演劇

### 防空費にと

#### 青年等熱演

##### 來る十七日聚樂館に

###### 演劇と音樂の夕開催

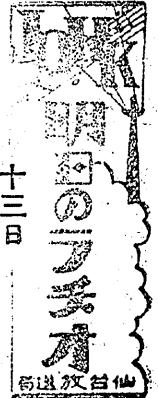
平の演劇好きの青年の團が豫ねてから平演劇研究會を組織し脚本の朗讀や劇作批評等に時々會合を試みて居たが折柄防空演習を前に控えて平町も何に彼と金が入用であるからその一部に純益を寄附しやうと來る十七日午後六時から聚樂館に演劇と音樂の夕を催し大向ふをうならす事になつた、上場するのはオペラコメディーの「誓」及び時代劇「情怨」の二篇で此外種々の音樂がある、一座は何れも

## 天理教に

### 支拂請求の

#### 訴訟を提起

飯野村大字南白土古宿一江尻彦太郎氏は今より十五年前現在の教會堂新築の際材料を請負つたが殘金三千三百五十圓が未だ支拂ひを



明日の部

今晩の部  
 後六、〇〇 お話物の始  
 後六、二五 趣味講義 史蹟巡り「三方原附近の史蹟に就て」渡邊素人  
 後七、三〇 趣味講義「實演」津輕地方の伎武祭に就て「竹内俊吾」  
 後八、〇〇 室内樂 ジュピタークワルテット

明日の部  
 後八、三〇 涼味通信「納涼列車」C.K.學藝課案  
 後九、〇〇 「宮園節」宮園千之  
 後九、〇〇 四五 オリズムピク放送「ドイッ」  
 後九、三〇 時報 ニューレポ 明日の話願 氣象通報 番組豫告

裁判一束  
 △既報去月三十一日大浦村上仁井田鈴木醬油店に忍び入り一風呂浴びて悠々と金庫の中から百餘圓を盗み出し逃走仁井田浦海岸を徘徊中四倉署員に逮捕された双葉郡龍田村生れ目下住居不定無職鈴木徳治(三)は今日一件書類と共に送検され氏家検事の取調べを受けたが前記犯行の外四倉海水浴場を荒し約三百圓の窃盜

平職業紹介所報告  
 ◇人を求める方  
 △豆腐賣子 三十才 迄給料歩合  
 △雑夫 廿才 迄給八圓  
 △出前持 十八才 迄給五圓  
 ◇職を求めめ方  
 △店員 十八才 高卒  
 △女中 十五才 高一修  
 △職工 十八才 高卒

## 時代の要求皆様の足!!

### 尼子タクシーへも

#### 豆タクが入りました

御立關から立關へ……迅速簡便是非御利用を……

市内……三〇銭 市外……四割引  
 流線型セダン 大型貸切バス  
 官行——直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします  
 平町二丁目  
**尼子自動車商會**

## 避暑客を

### 襲つて窃盜

小名濱字中町に一家五人で借家してゐた避暑客田村郡小野新町横町會田屋吳服店二瓶トシ方へ十一日夜十一時頃一名の賊が侵入現金四十五圓を窃取したが姪某(二)に騒がれて逃走平署では浴客専門の不良少年の所爲と睨み捜査中

## チブス患者

### 一時に七名

平町四丁目砂糖問屋百澤易與方店員高木正泰(三)七海重雄(三)鈴木達雄(七)石井滿(七)萩野和子(二)の五名は十日發病、腸チブスと決定即日隔離されたが數日前病氣静養のため植田町の實家に歸宅した同小店員二名も腸チブスで植田隔離舎に收容され合計七名患者が一時に發生した事として平署は



瓦解の謎 (作) 悟道軒圓玉 (脚) 尾至陽 (監)

一九五 ぐすと腹黒

高木伊兵衛の番頭善助はあたりをうかがひ奥四郎の耳に口をよせて

善「サア奥四郎さん土井様を追ひ拂ふ策はこういふことでございます」

とさ、やいた、奥四郎は首を振つて

奥「それはどんなことをするナ」

善「今お話し申したではありまんか」

奥「こつちの耳はよく聞えぬえ」

善「聞こえない耳を出す奴もねえものだ」

奥「お前は耳を貸してくれといつたな、貸すなら悪い方がよからうと思つて」

善「これはおどろいた、今お話し申したことはあなたの身に取つては一生の大事なことだ、戀の敵を追ひ拂ひその上この身代を相續なさる」

奥「判つた、サアこつちの耳を貸してやる、この耳ならならばたしかに聞こえる、床下で草鞋虫が話してゐることも聞えるよ」

善「よく聞いてください、これはあなたのためだ、ようございませうかえ、しつ

り聞いてください」  
奥「判つた、ウソをうか、ハテナ、ウムよく判らぬえ」  
善「まだ何んにもいひませぬ」



奥「さうか、善助お前もさうつかしいな」  
といつたが低能もこゝまで行くは無邪氣で骨稽味があつた。善助は聲をひそめてヒソ／＼とさ、やいた、膝をポンと打つた奥四郎

善「旦那が迷惑をしないやうにします、それにはかう訴へるんだ、それとも土井さんの傷のよくなるのを待つて表へ引き出し官軍の屯所に召伴れ訴へをなさい、その時には私も力をつくします、この二つのうち一つ實地に行へばあなたの戀の敵を官軍の手によつて除くことにもなりません、そこでちよつと申上げておきませう、戀の敵を追ひ拂ひおしづさんとあなたが婚禮してこの身代を相續したならば私もとてを貸してくだ

えておきなさい」  
悪い奴があるもので馬鹿の奥四郎を利用して莫大の資本金を引き出す策。かくとは知らず土井伊織は高木親子の同情に浴して傷の養生をしてゐる、しかし買藥では経過もよろしくない、そこで伊兵衛は淺草菊屋橋にゐる山口良澤といふ外科専門の醫師を招いた

この山口良澤は技術は出来てゐるがさぶる變りもので氣にいらぬ病家には行かずそれ故實力がありながら貧乏してゐる、この良澤が土井の傷の治療を加へることになつた、案内にしたがつて坊主あたまを光らして病間に通つたがこゝは六疊の座敷、床には抱一の花鳥の軸、古銅の花瓶には早咲

の牡丹が活けてある、これはおしづが活けたもの、芭蕉風の地袋に水墨の四君子これは筆者は判らぬが畫風は南畫です、良澤は床の上に座してゐる土井伊織を見て良「あなたかな病人は」とたづねると側にゐたおしづが「何卒先生診てください」  
良「ハイ、承知しましたハテナ、奇態なことがあるものだな、これは不思議だ……」  
しづ「先生何をいつてゐるの」  
良「サア御容態を診ませう……」  
ズイとそれへ進み寄つた良澤

### 是非!

御融通には御用命下さい  
萬事便利な御相談に應じます

公債、債券 三井質店  
質物一般 平・四 電六〇六番

### 品自慢と

正直な値段

自轉車・リヤカー  
フタバ商會  
新川町郵便局前

専門科  
産科  
婦人科  
花柳病科  
入院隨意

井坂醫院  
平町田町 電話五五九番

## 夏の御飲み物

- アイスクリーム アツキアイス
- ミルクゼーキ 別味 みつ豆
- ソーダ水 色々 特製 氷あぶり

例年通り始めました  
ほどよく香のよい 宇治名産氷挽茶、御土産に好適なクリームモナカも御座います。  
とても美味しい  
「氷すいか」

## 平二巻茶屋通り 魚清食堂

原庄六三三

## 久全屋商店

磐城セメント會社特約店  
磐城平町五丁目 電話九九九  
□良品廉賣に勝る商略なし  
□確實敏捷はの生命なり